

「認知症は適切なケアを」

倉敷で 専門家が改善事例
セミナー



認知症ケアについて考えたセミナー

が29日、倉敷市笹沖の
くらしき健康福祉プラ
ザで開かれた。

「認知症は適切なケア
が大事。施設と連携し
根気強く向き合っ
てほしい」と訴えた。

国際医療福祉大
学の竹内孝仁教授（高
齢者ケア）と、日本認
知症グループホーム協
会の河崎茂子会長が講
演した。

竹内教授は、生活習
慣の見直しで徘徊や幻
覚といった症状が改善
された事例を紹介。1
日1・5Lの水分補給
と述べた。県内の福祉

▽1500キロワットの運動
食事▽30分以上の運動
聴いた。（安部晃将）